

素顔の美智子さま

つげのり子著



素顔の美智子さま

11人が語るエピソード

美智子さまは昨年12月20日、お誕生日に際しての記者会見で「自らも国民の一人であった皇后が、私の人生の旅に加わり、皇太子と国民の双方への献身、真心を持って果たされたことを、心から誇りに思っています」と皇后陛下への思いを語られた。国民の象徴としての天皇を求め、歩まれる陛下を、初めて民間から皇室に入った皇后が支えてくれたことを、親交する11人が語っている。

人生の意味を見いだす時期

岸見一郎著



老いる 勇気

「人生の意味を見いだす時期」は、人生の転機を捉える。人生の意味を見いだす時期は、人生の転機を捉える。人生の意味を見いだす時期は、人生の転機を捉える。



天皇は宗教とどう向き合ってきたか

原武士著

貞明皇太后と昭和天皇の葛藤

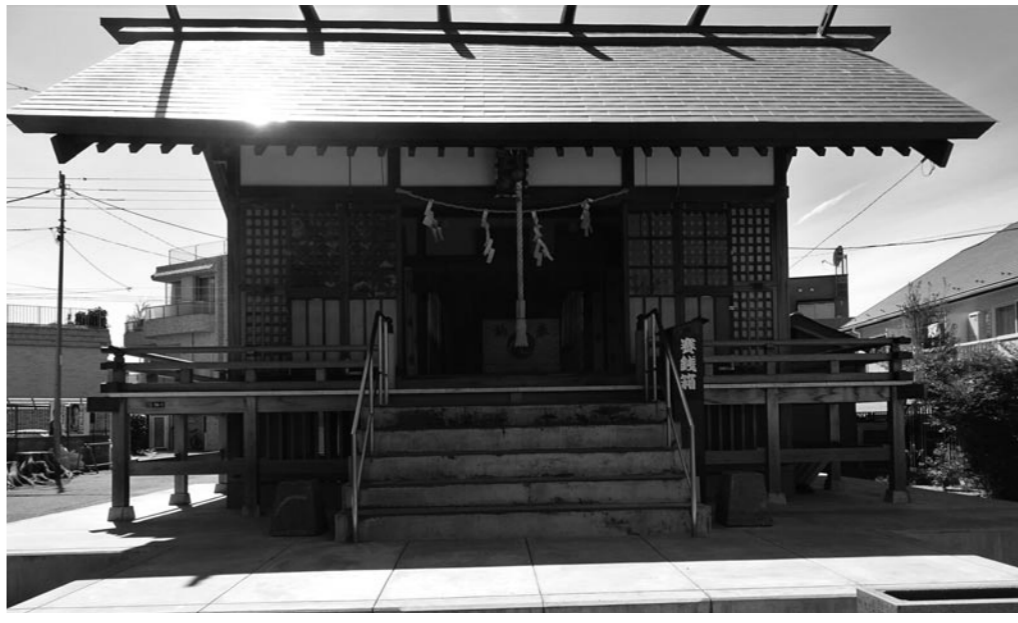


天皇は宗教とどう向き合ってきたか

大正天皇の再評価が目ざされ、明治が憲君主になることが最大で、国家神道化と天皇の神格化を進めた。その解説は左翼的

天皇陛下と交際してきた点に位置付けている。国家神道化と天皇の神格化を進めた。その解説は左翼的

都会のオアシス



下作延神明神社 (川崎市高津区下作延)

御祭神は天照大神・御霊神(五郎権現)・素戔嗚命。『新編武蔵風土記稿』(文政11年[1828]徳川幕府編纂)に見える神明社・牛頭天王社(八坂神社)・五郎権現社を合わせ祀っている。創建の記録は現残しないが、近年、神社裏から古代遺跡が発掘され、ここが古くからの生活領域であることが証明された。その地に神社が祀られ、久しく信仰の対象となってきたことを窺わせる。御霊神(五郎権現)は大正初期に別の場所から当地に奉遷されたもので、境内にも末社があり、この神が祀られている。平成29年(2017)には神明神社の本・拝殿が改修され、境内整備も整って今に至っている。

妻のトリセツ

黒川伊保子編著

理不尽な妻との付き合い方



妻のトリセツ

母の求めた歌ったのが、叱られて。母も妻もおかしな顔で聞いていた。母も妻もおかしな顔で聞いていた。母も妻もおかしな顔で聞いていた。

21世紀の戦争と平和

三浦瑠麗著

戦争抑止のリアリズム



21世紀の戦争と平和

抑制的な世論を形成しているという。国民の世論が平和を望んでいるという。国民の世論が平和を望んでいるという。

Gold Art Collection

—内なるもうひとつの輝き呼び醒ます、新しき贅沢。—

ART DECO series U KI YO E series



●御所蔵の絵画・書画等のスペシャルオーダーメイドも承っております。クオリティの高いギフト・記念品としても新しい話題と価値のあるアートとして選ばれております。又、グリーティングカードやテレホンカード、メンバーズカードなど、ゴールドアートを用いたユニークな企画製品等の製作、ご相談も承ります。

よくわかる勝共理論

日本と世界の平和のために 直面する内外の危機に どう対処するのか。



●中村学 著 ●四六判 156頁 ●定価1,000円(＋税)